

財団法人古都大宰府保存協会

代表者	理事長 佐藤 善郎
所在地	〒818-0101 福岡県太宰府市観世音寺四丁目6番1号
設立年月日	1974年7月16日
URL	http://kotodazaifu.net/

【設立趣旨】

大宰府地方における歴史的風土及び文化財の保存・活用を図ることを目的として、昭和49年7月、財団法人古都大宰府を守る会として設立されました。当協会が行う事業を通じ、多くの人に々に史跡に関わって頂くとともに、常に身近に史跡を感じ、史跡や文化財を守り伝えていくことの大切さを知っていただくことをめざしています。

【沿革】

昭和49年7月	「財団法人 古都大宰府を守る会」設立
昭和55年度	大宰府展示館 開館。財団事務所を大宰府展示館に置く
昭和63年度	大宰府発掘20周年記念事業開催
平成2年度	大宰府展示館開館10周年記念事業開催
平成6年度	財団設立20周年記念式典並びにシンポジウム開催 財団名称を改称「古都大宰府を守る会」から「古都大宰府保存協会」へ
平成12年度	福岡県より「教育文化功労賞」受賞 文化庁より文化財保護法施行50周年を記念して「文化財保護功労賞」受賞
平成16年度	財団設立30周年記念式典並びに記念行事開催
平成20年度	大宰府史跡発掘調査40周年記念事業



発掘40周年記念事業

【活動目的】

「大宰府地方における歴史的風土及び文化財の保存・活用を図る」ことを目的として、福岡県及び太宰府市から補助を受け、また地元の皆様の協力を得ながら事業を行っています。

【活動内容】

- 史跡の保存・活用事業
史跡整備地の維持管理・万葉植物の植栽（万葉植栽ボランティアによる）
- 史跡・文化財の広報普及事業
ボランティア大宰府史跡解説員による史跡の案内・ボランティア大宰府史跡解説員の養成
講演会・講座「史跡めぐり」「古代体験講座」などの実施及びイベントの実施
- 大宰府展示館の管理運営
常設展・企画展の実施
- 財団法人古都大宰府保存協会 会員事業
機関紙「都府楼」（年1回）・会報「古都たより」（年3回）
研修旅行（日帰り1回・宿泊1回）の実施 会員総会の実施



古代体験 土器づくり

平成21年度 主な事業

本年度は『万葉集』最終歌より数えて1250年の節目の年。それを記念した事業を行います。

■企画展「万葉時代の太宰府」

万葉集の中でも、ひときわ精彩をはなつ筑紫歌壇。九州筑紫の地に万葉の文化が花開いた時の太宰府のようすを出土遺物で紹介します。

会期	平成21年10月10日（土）～11月1日（日）
月曜休館	月曜祝日の場合は翌火曜休館
場所	大宰府展示館（大宰府政庁跡東側）
開館時間	9時～16時30分
入館料	高校生以上 150円 小中学生 無料

■企画展「榊 晃弘・万葉のこころ写真展」

萬葉学会全国大会（於：九州国立博物館）開催にあわせて写真展を開催します。それぞれの万葉歌のイメージを一枚の写真に凝縮して展示し、『万葉集』に詠われたそれぞれの故地への魅力を紹介します。

会期	平成21年10月14日（水）～10月25日（日）
	9時30分～17時
会場	九州国立博物館 エントランスホール <入場無料> 榊 晃弘さんによるギャラリートーク
日時	平成21年10月18日（日） 14時～
	参加費無料・申し込み不要



大宰府展示館



唐津城 会員日帰り研修



史跡整備事業 水城跡

【活動上の課題と今後の展望】

日常的な整備・維持管理はもちろんのこと、新たな情報をさまざまなメディアを通じて、たえず発信し続けていくことが必要とされています。その意味では、わたくしたちが管理運営している大宰府展示館は、大宰府政庁跡に隣接する施設として、そのベースキャンプとなりうる重要な存在です。また、今後の展開として、地元をまきこんだ「太宰府まほろば検定（仮）」の実施を視野に入れた活動を考えているところです。